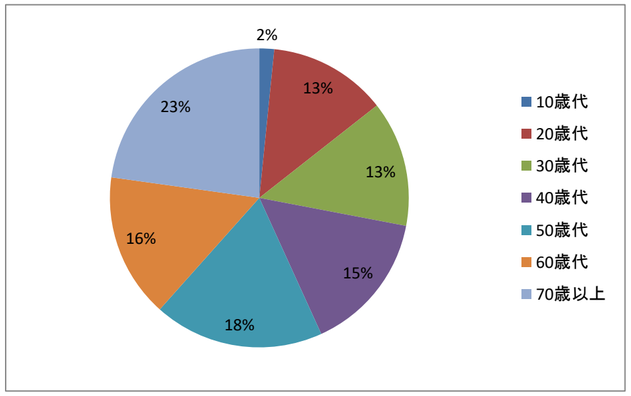
第10回　木の文化都市・金沢の実現に向けた市民意識調査

【アンケート実施期間】　令和8年10月9日～10月21日、26日～27日

【アンケートの目的】　金沢市木の文化都市推進計画の進捗管理のため「木の文化都市・金沢」を目指した各種取組について伺うもの。

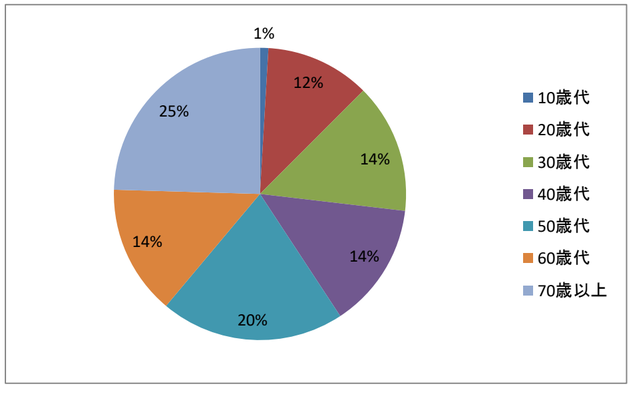
【対象者数】　250 名

内訳	人数	%
10歳代	4	1.6
20歳代	32	12.8
30歳代	34	13.6
40歳代	38	15.2
50歳代	46	18.4
60歳代	39	15.6
70歳以上	57	22.8
計	250	100.0



【回答者数】　216 名

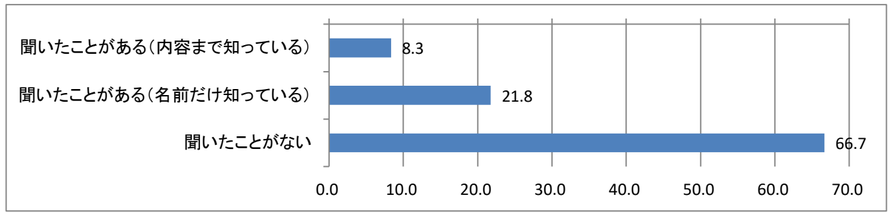
内訳	人数	%
10歳代	2	0.9
20歳代	25	11.6
30歳代	31	14.4
40歳代	30	13.9
50歳代	44	20.4
60歳代	31	14.4
70歳以上	53	24.5
計	216	100.0



【回答率】　86.4%

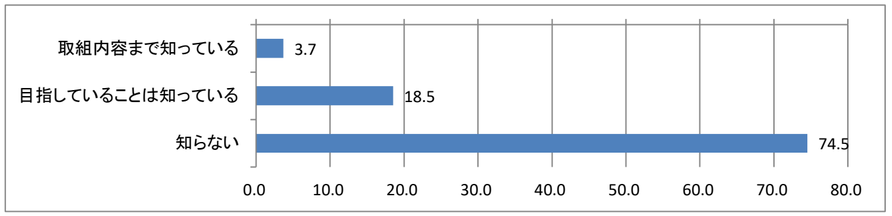
問1「木の文化都市・金沢」という言葉を聞いたことがありますか。

回答	人数	%
聞いたことがある（内容まで知っている）	18	8.3
聞いたことがある（名前だけ知っている）	47	21.8
聞いたことがない	144	66.7



問2 金沢市では「木の文化都市・金沢」を目指し、さまざまな取組を進めていることを知っていますか。

回答	人数	%
取組内容まで知っている	8	3.7
目指していることは知っている	40	18.5
知らない	161	74.5

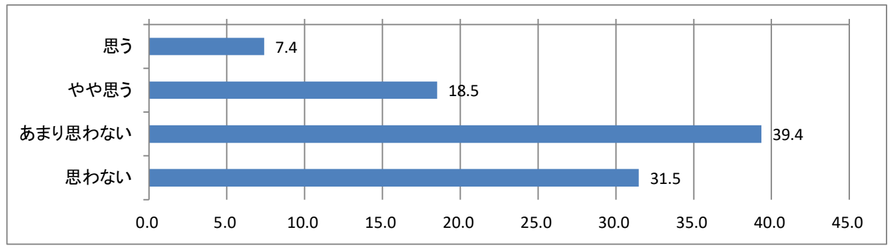


問3「木の文化都市・金沢」でイメージするものは何ですか。

鼓門、金沢駅
公園、街中にある憩いの場としての緑地、森林公園、いしかわ四高記念公園、本多の森公園
金沢城公園、鼠多門橋、兼六園、城下町
茶屋街、長町武家屋敷街、町家、古民家、神社仏閣、日本建築、歴史的建造物
木造の橋、梅の橋
木造建築物、木虫籠
県立図書館、玉川こども図書館、とんぼテラス、公共施設の木質化、木のベンチ、アートベンチ、モニュメント
山林、森林、森林とまちのつながり、卯辰山、街路樹、雪吊り
新築物件の庭木のプレゼント
漆器などの工芸品、木工品、家具
木製玩具、木製の生活用品、子供たちの作品
古き良き都市のイメージ
駅の鼓門から東山、金沢城、兼六園など木の温かみを感じながら回る観光地
木造建築住宅の街並みと道路脇の街路樹の連なりと市街地を取り囲む山々の豊かな樹木の緑
木材を使用した文化施設や郷土品が多く、森林保護にも力をいれている
木がたくさん生えていて自然豊かな金沢、街中でも緑豊かな街
街の中が緑豊かである、木々があって緑の爽やかなイメージ
市の面積で山林が占める割合が多い
都市域に緑を調和させる景観だったり、文化財を手厚く保護するイメージ
木で作られた良きものを大切にし後世に伝え残していく。
杜の都　緑が映える街並み
緑と共生した街づくりと、木工製品の拡充
自然に育った木々や資材を利用した街づくり。（建築→利用→老朽化→自然に戻す）
芸術的、自然の温もりのある文化都市
環境に良さそうなイメージ、二酸化炭素
木に温もりを感じるが、その反面、クマン蜂が木をガリガリかじって木造住宅をダメにする。この点の対処方法も検討課題として重要だと思います。
木と関わりがあるのは知らなかった、あまり木というイメージがない、結びつきがわからない、輪島や山中なら理解できるが。

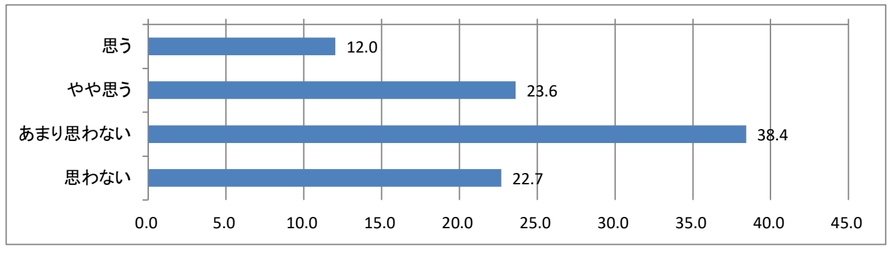
問4 令和3年度からの取組以前に比べて、木材や森林などの木に対する意識が深まりましたか。

回答	人数	%
思う	16	7.4
やや思う	40	18.5
あまり思わない	85	39.4
思わない	68	31.5



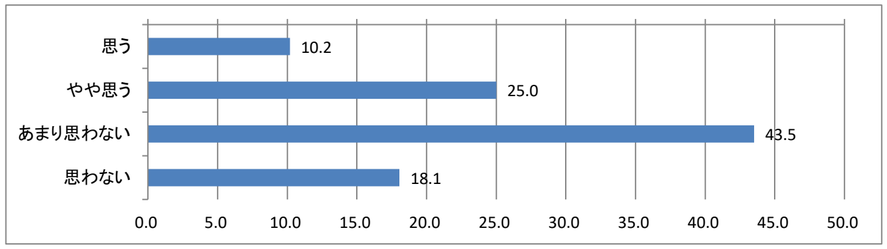
問5 令和3年度からの取組以前に比べて、生活の中で緑や木を感じられるもの（木の感じられる住まいや、家具、身の回りの食器など生活用品）を取り入れたくなりましたか。

回答	人数	%
思う	26	12.0
やや思う	51	23.6
あまり思わない	83	38.4
思わない	49	22.7



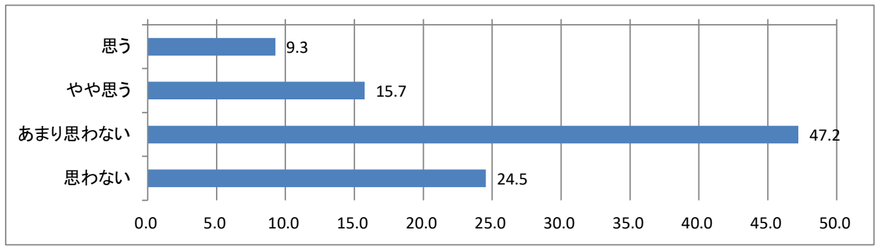
問6 令和3年度からの取組以前に比べて、まちなかで緑や木をつかった建物を見ることが多くなりましたか。

回答	人数	%
思う	22	10.2
やや思う	54	25.0
あまり思わない	94	43.5
思わない	39	18.1



問7 令和3年度からの取組以前に比べて、金沢市の森林や、まちと森林との関係について、意識したり考えたりするようになりましたか。

回答	人数	%
思う	20	9.3
やや思う	34	15.7
あまり思わない	102	47.2
思わない	53	24.5

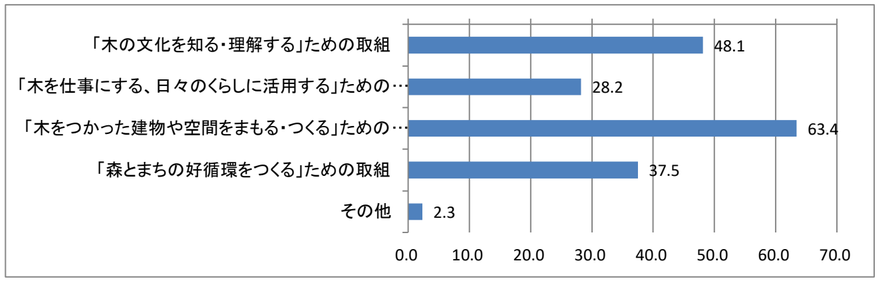


問8 金沢で「木」を感じる場所やものについて教えてください。

鼓門、金沢駅
公園、犀川緑地（桜並木）、西部緑地公園、奥卯辰山健民公園、北部公園、大乗寺丘陵公園、森林公園
いしかわ四高記念公園、しいのき迎賓館、本多の森公園、国立工芸館周辺
金沢城公園、鼠多門橋、石川門、兼六園、庭園
茶屋街、長町武家屋敷街、町家、神社仏閣
木造の橋、梅の橋
木造建築物、大野からくり記念館、金石町小学校の階段、市役所前の広場
県立図書館、玉川こども図書館、とんぼテラス、木育広場、木のベンチ、アートベンチ、小学校、保育園
木育イベント
山林、森林、卯辰山、高尾山、街路樹、粟崎、太陽が丘ニュータウン、医王の里、植栽
漆器などの工芸品、桐工芸、木工品、家具、トントゥ
リフォームされたホテルなどの建築物
もくゆうりん、もっきりや
城北児童会館入口のモニュメント
駅前の北國銀行
家具、災害
最近は「木」のように見えても、実際の材質や素材は違うことがあるので、良く分からない
特になし

問9 木の文化都市金沢を実現するために特に重要な取り組みはどれだと思いますか。(複数選択可)

回答	人数	%
「木の文化を知る・理解する」ための取組	104	48.1
「木を仕事にする、日々のくらしに活用する」ための取組	61	28.2
「木をつかった建物や空間をまもる・つくる」ための取組	137	63.4
「森とまちの好循環をつくる」ための取組	81	37.5
その他	5	2.3

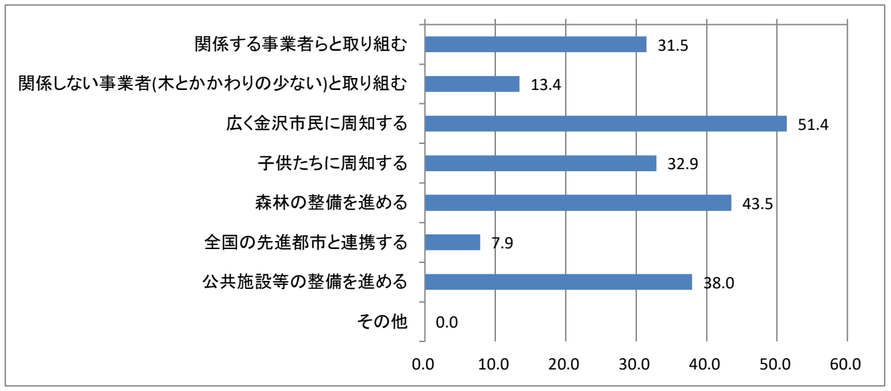


その他

木の文化都市になることで市民が得られるメリットの理解
まずどのような取り組みをしているのか、広く伝わるようにしたほうが良いのではないでしょうか。
町家の修繕や維持に対する補助金
小中学生の森林教育
県民へ周知する

問10 木の文化都市金沢を実現するために、どのように取り組むことが有効だと思いますか。(複数選択可)

回答	人数	%
関係する事業者らと取り組む	68	31.5
関係しない事業者(木とかかわりの少ない)と取り組む	29	13.4
広く金沢市民に周知する	111	51.4
子供たちに周知する	71	32.9
森林の整備を進める	94	43.5
全国の先進都市と連携する	17	7.9
公共施設等の整備を進める	82	38.0
その他	0	0.0

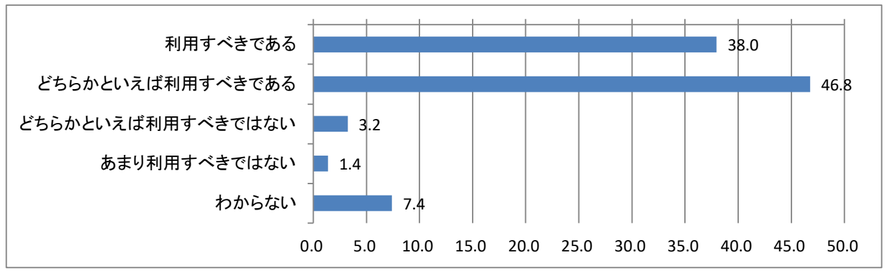


その他

公園の樹木の整備
クルマの抜け道になっているような生活道路に近い道路に植樹した歩道を設置して、生活道路を猛スピードで通り抜けるクルマを減らし、 歩行者がまず木を感じられるようにするべきではないか。そうすれば、木材を使いたいという人も現れてくるのではないか。
金沢町家のグローバルに向けたPR
定義づけ
森林公園の整備、充実
教育現場との連携

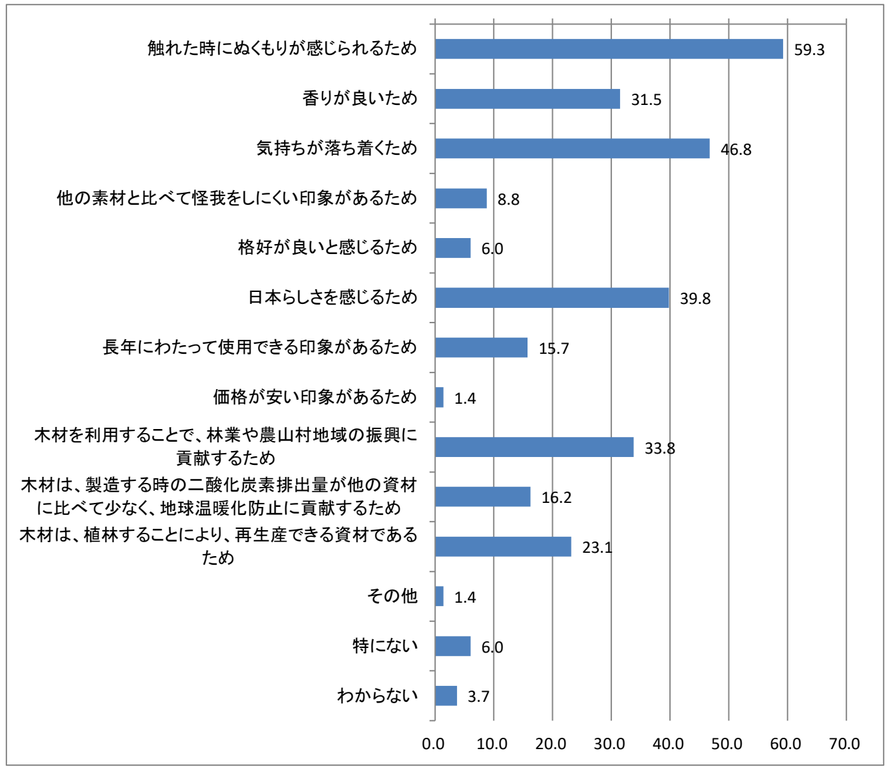
問11 様々な建物や製品に木材を利用すべきと思いますか。あるいは利用すべきではないと思いますか。

回答	人数	%
利用すべきである	82	38.0
どちらかといえば利用すべきである	101	46.8
どちらかといえば利用すべきではない	7	3.2
あまり利用すべきではない	3	1.4
わからない	16	7.4



問12 あなたが利用すべきと思う理由は何ですか。(複数選択可)

回答	人数	%
触れた時にぬくもりが感じられるため	128	59.3
香りが良いため	68	31.5
気持ちが落ち着くため	101	46.8
他の素材と比べて怪我をしにくい印象があるため	19	8.8
格好が良いと感じるため	13	6.0
日本らしさを感じるため	86	39.8
長年にわたって使用できる印象があるため	34	15.7
価格が安い印象があるため	3	1.4
木材を利用することで、林業や農山村地域の振興に貢献するため	73	33.8
木材は、製造する時の二酸化炭素排出量が他の資材に比べて少なく、地球温暖化防止に貢献するため	35	16.2
木材は、植林することにより、再生産できる資材であるため	50	23.1
その他	3	1.4
特にない	13	6.0
わからない	8	3.7

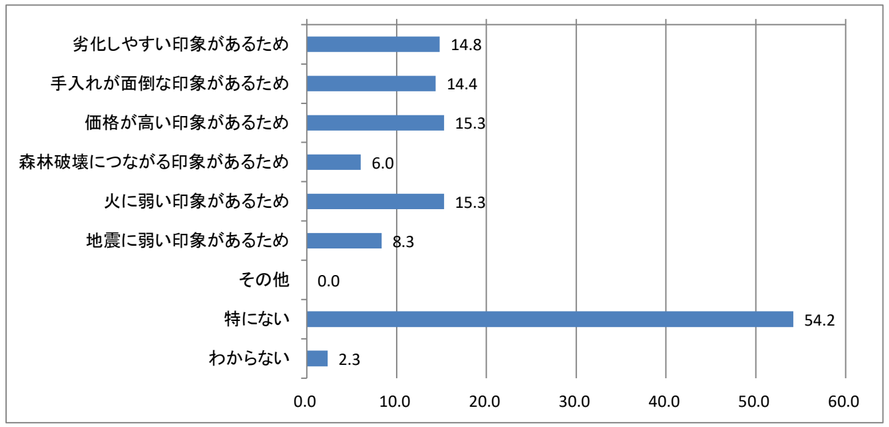


その他

適材適所があると思うのではっきりとはわからない
伝統を感じる
木の文化都市を目指すなら使ったほうがいいと思う

問13 あなたが利用すべきではないと思う理由は何ですか。(複数選択可)

回答	人数	%
劣化しやすい印象があるため	32	14.8
手入れが面倒な印象があるため	31	14.4
価格が高い印象があるため	33	15.3
森林破壊につながる印象があるため	13	6.0
火に弱い印象があるため	33	15.3
地震に弱い印象があるため	18	8.3
その他	0	0.0
特にない	117	54.2
わからない	5	2.3

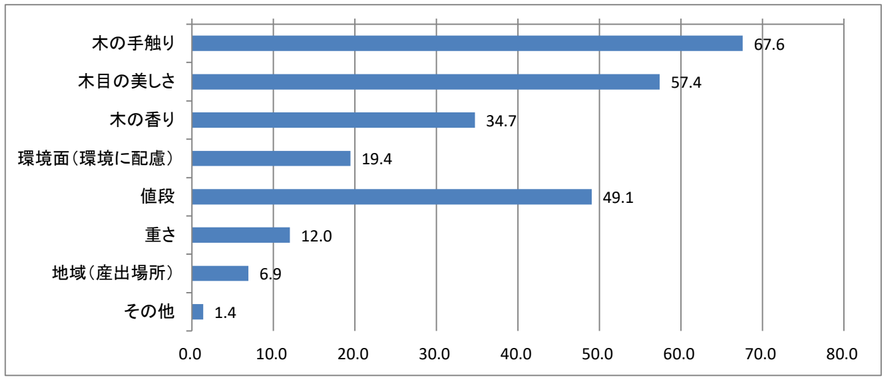


問14 あなたは、どのような施設に木材が利用されることを期待しますか。

図書館、美術館、兼六園、学校、保育園
子供の遊び場、子供たちが利用する施設、人が集まる・利用する公共施設、公共施設の内装
金沢駅、駅や公園のベンチ、音楽堂、演劇堂
観光施設、公共空間、観光案内板
ゆっくり過ごすようなリラックスできる場所、休憩施設や憩いの場所
介護施設、福祉施設、医療機関、動物園、ドッグラン
公民館、体育館、ホール、トイレ、浴室、弓道場（武道館）、駐在所
木造建築物、住宅
宿泊施設、飲食店、郵便局、薬局、銀行、商業施設、銭湯
伝統芸能に関する施設
木材を利用する合理的な理由が感じられる施設
金沢城の復元など古い寺社仏閣の修繕等、橋
森林公園を多くつくること。芝生の公園ではだめである。
観光を中心とした地域に特に利用することで、街の一体感なども出る
鼓門のような象徴的な建物や柱。
金沢駅東口から卯辰山方面にある家屋、道の駅
博物館、記念館などで、小規模な建築に利用されると身近に感じると思います。
これから建設される建物に使える木材はなんでも利用したらいいと思う
公共施設が利用の手本となるのが理想的
あらゆるもの。外観、内装材含めて
どの施設にも木材が使われるといいなと期待する
金沢の玄関口のイメージの鼓門から始まるストーリー性のあるまちづくりとして街中の公共施設、文化施設などを木造建築とする
人と自然がマッチした空間
雨に強い材質の木があるなら、バス停に使うのもいいと思う。雨に強いことも宣伝できそう。
大きい風呂の浴槽とか木のイメージがあるので、そこで利用されればいいかな、ぐらいです。
鼓門などのように、多くの人が訪れて目にする機会の多いところ。兼六園の近くやひがし茶屋街。ひがし茶屋街は何度か訪れているけど思ったより 古き良き街並みの範囲が狭いと思う。京都のように、街の景観を守る取り組みがあっても良い。景観の良いところが増えたらいいなと思います。
強度の高い建築木材が開発されていると聞きます。多くの人が触れる公共施設などに積極的に用い、経過や成果を積極的に周知すべきと考えます。
どの施設も見た目に木材を利用し、中身は別の素材でも構わないので組み合わせて利用する斗良いと思いました。
燃えにくい頑丈
定期的に点検など手入れがされやすい公共施設。木造建築ゆえの弱さが懸念点であり、無闇に増やして欲しくない。
質問が難しい、分かりづらい
ない、わからない

問15 木製品を購入（使用）する際は、どのような点を重視して購入（使用）しますか。

回答	人数	%
木の手触り	146	67.6
木目の美しさ	124	57.4
木の香り	75	34.7
環境面（環境に配慮）	42	19.4
値段	106	49.1
重さ	26	12.0
地域（産出場所）	15	6.9
その他	3	1.4

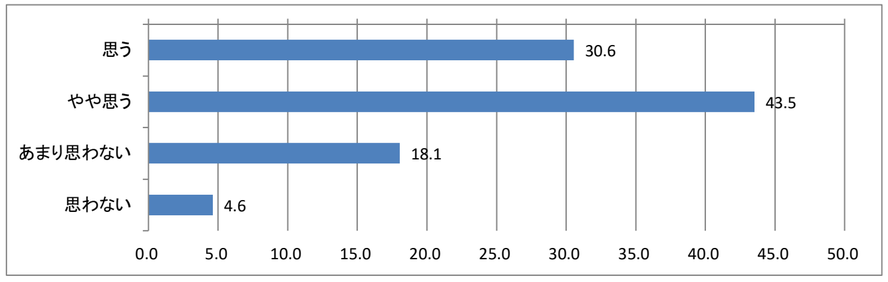


その他

匂い
耐久性
木の素材、種類、適したもの

問16 金沢産の木材で製作された製品を優先的に購入（使用）したいと思いますか。

回答	人数	%
思う	66	30.6
やや思う	94	43.5
あまり思わない	39	18.1
思わない	10	4.6



問17 金沢産の木材で製作されたどのような製品であれば、購入（使用）したいと思いますか。

食器、箸置き、お盆、コースター、箸、スプーン、まな板、サラダボール、弁当箱
食洗機に入れられるお椀、ワンプレート皿
生活用品（物干し台、ほうき、ちりとり、傘立て）、小物、スマホスタンド、実用品
櫛、文具、アクセサリー、アクセサリートレー、アウトドア用品、杖
アロマオイル・エッセンシャルウォーター(消臭・除菌スプレー製品など)、木目の美しいしおり(観光客・又はお土産品用)
つみき、子供のおもちゃや小物、キーホルダー、ペット用品
調度品、工芸品、獅子頭の置物、彫刻、鉛筆や箸などの消耗品、花器、扇子、木刀
金沢城や鼓門の正確なレプリカ
工芸品とのコラボ製品、木彫り細工
家具（箪笥、椅子、机、棚）、額縁、フォトフレーム
建築内装、住居、風呂場、浴槽、無垢材のフローリング
日曜大工で使用する木製部材　棚や囲等資材
日常で使用できて、手頃な価格のもの。長年使える物。記念になるもの。
しいて言えば、美術品の類でしょうか。　金沢産のここが秀でているというアピールポイントがないと、積極的に買おうかというマインドには ならないのではないでしょうか。どういう路線で売り出すか、行政の皆様の知恵の出しどころです。
わからない、特になし
価格、デザイン次第
値段と内容によるが、金沢産だと愛着が湧く。
産地にはこだわらない。モノとして優れていれば買うと思う
特に金沢産にはこだわりませんが、価格や商品に優位性があれば購入したい
ニトリなどで買えるものと同じ性能で同じくらいの値段の製品
まな板。年末などに大工さんが削ってくれるサービスつきで。あと、タンスや下駄箱に入れる芳香剤として今日木屑をもらえたり、買えたりする 機会があると、もっと多くの人に木を身近に感じられる機会が増えると思う。
普段特に木の産地を意識しないので金沢産と言われても購入意欲がわかないが…家具屋では岐阜が有名？だったりするので木そのものよりも 家具としてのブランドを構築した方がいいのでは？
個人消費として金沢産の木材製品にどのような商品があるのかを知る事からだと思います。
木材は軽さが取り柄なので、軽いけど大きさのあるアクセサリーや、軽くてシンプルで使いやすい食器など。個人的に、軽さと、値段の安さがあれば 買う可能性が高い。
前提として地元にあるものは、身近なので他の都道府県の品より優先して買おうと思いません。地元の人より先に観光客に買って貰って、 余れば地元の人に提供して頂けると嬉しいです。それでも買うかどうかは、それだけ欲しいと思わせる動機が持てるかどうかです。 昨今で言えばめじるしアクセサリーとしてカプセルトイで販売、モチーフにひゃくまんさんなどが良いかと。また、純粋に機能性が高い日用品の 1つとして存在すれば買います。
今回のアンケートは非常に答えにくいなと思いました理由は木の文化都市ということが認識がなかったからですまずはその点から金沢市民に 周知できる企画をすべきかと思います

アンケートにご協力いただきありがとうございました。
今回いただいたご意見は、当制度の次年度以降の運営の参考とさせていただきます。